

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2017 年 4 月号 (第 104 号)

発行責任者 稲村 洋二



「食トコ・アジア研究会」イベント 「東京ジャーミー見学」代々木上原のモスクにて 撮影/小倉 洋一

「生涯学習」をテーマに シンポジウム開催

ところざわ倶楽部会長 稲村 洋二

5 月 29 日 (月) 所沢市民文化センター・ミューズにて、ところざわ倶楽部 10 周年記念事業の一環として「生涯学習シンポジウム」を開催いたします。

会員の皆様には「生涯学習」という言葉は耳慣れた言葉と思います。我々は生まれた時から学習を始め、今日まで学習を続けてきていますが「生涯学習」という言葉を意識しなくても、実際にはそれぞれの形で実践してきています。しかし、リタイアし、シニア世代と言われる年代になっている我々にとって、おのずとこれまでとは違う学習の価値観があるはずです。

今回のシンポジウムでは加瀬裕子早稲田大学教授による「老年学」の講演で改めて高齢化とそれに応じた価値観の創造について学びます。

さらにパネルディスカッションでは、ところざわ倶

楽部は創立以来 10 年になりますが、会員の皆様の継続した学習の場として将来どうあるべきかを会場の皆様と一緒に考えてまいります。

昨年度「ところざわ倶楽部のあり方」について検討してまいりましたが、将来の倶楽部のあるべき姿について結論を得ることはできませんでした。今回のシンポジウムを通じて一定の方向性を探りたいと考えています。

今期の 3 つの 10 周年記念事業は、これまでのところざわ倶楽部の歩みを振り返り、倶楽部の将来へのマイルストーン (道標) の意味を持つものであります。

10 周年記念事業をやり遂げ、来期 (11 期) は、「New ところざわ倶楽部」として歩みを始めるものと確信しています。

10 周年記念事業

「生涯学習」シンポジウム

～人生をもう一度！ 学びへのチャレンジ！～

事業部長 佐藤 重松

第1弾記念イベントとして、5月29日（月）所沢市民文化センター・ミューズにて、豊かな人生への永遠のテーマである「生涯学習」について考える集いを企画しました。

市民大学での4つの理念に基づいて、学ぶことの喜びと、交流と親睦、修了後もサークル活動を通じ体現されてきた中で、「生涯学習」のテーマに、今更感をお持ちの方もおられるかもしれません。

市民大学も今期で25期目を迎え、その中でOB会である「ところざわ倶楽部」も創立10周年の節目

を迎えました。

その両者の足跡を辿りながら、我々シニア世代が「出来る限り一日でも長く生きいき」と人生を生き抜いていく“知恵”が、このシンポジウムで共有できれば、大変意義のあることと思います。

高齢化に伴う課題が多い中で、高齢者の諸能力を活用できる自由で健康な生活、そして個人の長寿化と社会の高齢化に応じた新たな価値観の創造に寄与している倶楽部会員の皆さんとともに、大いに希望を語り合いたいと思います

シンポジウム概要

日時：5月29日（月） 会場：ミューズ・ザ・スクエア

第1部 基調講演 加瀬裕子氏（10時～11時）

テーマ：「人生をもう一度！ 学びへのチャレンジ！」

リタイア後のシニア世代が、加齢とともに抱える課題を取り上げ「豊かな人生」とはという観点で講演をいただきます。

第2部 パネルディスカッション（11時10分～12時40分）

早稲田大学教授 加瀬裕子氏

生涯学習研究所所長 細山俊男氏

倶楽部歴代会長 佐藤八郎氏 薄井文子氏 稲村洋二氏

第3部 参加者とパネリストの懇親会（13時～15時）

講演やパネルディスカッションを受けて、生涯学習について語り合います。（懇親会参加費 1,000円）

加瀬 裕子（かせひろこ）教授紹介



早稲田大学人間科学学術院教授

日本社会事業大学社会福祉学部卒業

1979年日本女子大学大学院

博士課程前期修了 博士（人間科学）

専門 高齢者福祉

*第25期 市民大学講師

講座 超高齢社会の福祉

3 月度 理事会報告

総務部長 石堂 智士

3月13日（月）開催

1. 会長挨拶

1) 「ハーメルンの笛吹きおとこ」の報告

(1) 「子ども募集」チラシ決定後、公募

(2) チケット販売計画の決定後、サークル訪問

2) 記念誌発行の新体制決定（6名）

中原委員長、内田、大越、中島、玉上、15期清水氏

2. 総務部案件

1) 市民大学説明会の日程確認を西郡氏へ依頼

2) サークル会員数報告とサークル補助金支給
会員数 258名 補助金 76,500円

3. 事業部案件

1) 文芸講座の日程・テーマ・講師決定

日程：6/5（月）、6/21（水）、6/26（月）、7/10（月）

テーマ：「人間・夏目漱石」

講師：栗田博行氏

2) 5/29日「生涯学習」シンポジウム開催

基調講演 加瀬裕子氏

早稲田大学人間科学学術院教授

3) サークル発表会（7月31日（月）予定）

食トコ、ドラカン、楽悠クラブ、野老澤の歴史をたのしむ会の4サークル

4. 広報部案件

広場 3月号発行報告、4月号編成案依頼

公開文芸講座

「人間・夏目漱石」参加者募集

事業部

今年度の文芸講座は「人間・夏目漱石」と題し、4回シリーズで開催いたします。近代文学に偉大な業績を残し、生誕150年を迎えた漱石の足跡を辿り

ます。講師は平成26年に「人間・正岡子規」の公開講座を担当されました栗田博行先生です。

スケジュール

日程：平成29年6月～7月 全4回
会場：生涯学習推進センター201号
募集人員：80人（会員50、一般30）
参加費：会員1,000円 一般1,500円

講座日程と講義内容

- 第1回 6月5日（月）
幼少年期～青年期の自己形成
- 第2回 6月21日（水）
国家がもたらした青年期の危機
- 第3回 6月26日（月）
壮年期・あの事を胸底にひそめて
- 第4回 7月10日（月）
消えなかったトラウマと創作のマグマ
- 受付：13時（初回のみ12時30分）
開演：13時30分～15時30分予定

申込方法

- ◆倶楽部会員はサークル代表がとりまとめる
- ◆一般、会員個人で申込まれる方は、往復はがきに「人間・夏目漱石」参加希望と明記し、住所、氏名、電話番号を記入し郵送してください（申込多数の場合は抽選）
- ◆申込先
〒359-0025 住所：所沢市上安松 769-6 佐藤重松宛
- ◆申込締切日：5月15日（月）
- ◆問合せ先 佐藤重松 090-5412-5760
＊各公民館にポスター、チラシ配布



栗田博行氏プロフィール
愛媛県松山市生まれ
元NHKディレクター、プロデューサー
教育・教養番組に長年携わる
正岡子規・夏目漱石の人間像を研究、その精神を語り続けている

10周年記念誌作成 実行委員会発足のお知らせ

記念誌実行委員長 中原 幹男

総務部と広報部の選任メンバーで記念誌作成実行委員会を発足、3月13日に第1回委員会を開催し、以下の通り編集方針をまとめました。会員の皆様とともにより良い記念誌にしたいと思います。

1. 発行目的

- 1) ところざわ倶楽部10年の振り返りと各サークルのあゆみを編集し記録を残す
- 2) これから入会する会員への倶楽部およびサークルの紹介書とする
- 3) 対外的に倶楽部の活動を紹介するガイドブックとする

2. 構成

- 1) 表紙（会員から記念誌にふさわしいデザインを募集することも検討する）
- 2) 巻頭言（稲村洋二会長寄稿）
- 3) 倶楽部10周年を振り返る文章と写真

4) 10周年記念行事のまとめ

5) 年表（時代背景や所沢市の情勢と倶楽部の活動実績）

6) サークルのあゆみ ＊フォームを実行委員会で決め、4月中旬に各サークルへ配信する

・書式：A4版2ページ 縦2段組み（各サークルの活動の写真数枚含む）

・内容：設立以来の歴史を振り返り、現状や今後の展望を盛り込む

・原稿締め切り 7月31日

7) サークル一覧表、特別会員紹介

8) 編集後記 9) 裏表紙

3. 冊子の仕様：フルカラー、A4版、総48ページ、中綴じ、印刷部数300部、予算7万円

4. 発行時期 第11期定期総会時（11月21日）に配布する

サークル活動計画

「リア王」に再挑戦！

ドラマティック・カンパニー 柳澤千賀子

前回の活動報告は大作「ヘンリー六世」を一年かけて読み終えた充実感を綴っていました。

その後、私達は 1)「タイタス・アンドロニカス」
2)「テンペスト」 3)「夏の夜の夢」 4)「間違いの喜劇」 5)「ウインザーの陽気な女房たち」
6)「ロミオとジュリエット」 7)「コリオレイナス」と読み進めてきました。

昨年 11 月から主たる活動場所を中央公民館に移し、学習室が少し広くなりました。壁も以前の所より厚く防音も良くなりました。学習室では特に席は決まっておりますが、何となく指定席になっています。輪番で読み進めていくのですが、最初に読む人は笠松泰洋先生の右手側（これは先生の習性と言いましょうか）の人になります。その第一声がパーンと放たれると、後の人も負けじと続きます。発足時「大きな声が出せなかった」なんて言うのは今では伝説ですね。

文化祭では 2015 年「ヘンリー六世」、16 年「ウ

インザーの陽気な女房たち」を発表しました。

「ヘンリー六世」の時にはなんと、先生が作品に合わせて作曲をしてくださり、メンバー一同驚きと共に大感激でした。それがあまりにも素晴らしくて私達の草芝居（決して卑下している訳ではありません）には勿体なすぎるほどでした。

今年の第 2 回サークル発表には生涯学習推進センターオープン記念で発表した「リア王」をする予定です。ご存じのようにこの作品は“老い”がもたらす身の破滅がテーマです。今の時代も変わらぬ老人問題なのです。現在メンバーは 15 期 4 名、18 期 1 名、20 期 1 名、22 期 3 名、23 期 3 名の 12 名で、15 期 4 名を除いては「リア王」をやっております。3 月に入って本格的な読みに入りました。

これから読み込んでいって登場人物の気持ち、置かれている状況、当時と今との比較など、先生の楽しくも厳しいご指導を受けながら、前回より良い発表ができるように頑張っていきます。

サークル活動計画

音楽は心のビタミン

楽悠クラブ 福田 晴男

“音楽は心のビタミン”だと私たちは確信しています。口の中に入れて飲まなくてもオーケー、目をつぶっていてもオーケー。受け身の状態でいながら、自然に耳から入って来てその効用を実感できる、こんな結構な都合の良いビタミンはないのではないのでしょうか。

ジャンルを問わず様々な音楽が私たちの人生の節目節目において心の中に飛び込んで、私達を時に慰め、また心を豊かにしてくれたでしょう。今になり、久しぶりに心に沁みいったそれらの音楽を聴くと、その時の感動や情景が浮かび上がってきますか？ また、これまで接したことのない音楽（演奏）を聴く機会を持つと、新たな感動を覚え、ひょっとしたら若々しい気持ちも蘇ってくるかもしれません。そんな期待を込めて、私たちは全員参加により年度鑑賞計画をたてています。

月例会は、先ず全員が立ち上がったの発声から始めています。知らず知らずのうちに胸の中に溜まっていたストレスをグッと外に押し出してすっきりとしてから、分担して醸し出したドミソの和音によ

るハーモニーを心地良く味わいます。そして、当月の小曲（懐かしい唱歌やフォークソング、ポピュラーソングなど）を楽しみ、時には頭の体操（音楽クイズ・しりとりなど）を交えながら、当月のメイン演奏をDVDやLDにて鑑賞するのです。それも大画面・大音響で！！

（今年の鑑賞演目は下記の通りで、詳細は「ところざわ倶楽部HP・サークル紹介」に掲載しています）

- ・オペラ（歌劇）：2月、3月、5月、9月、12月
- ・ミュージカル：7月、8月
- ・オーケストラ：1月、10月
- ・ジャズ：11月
- ・女性歌手、男性コーラス：4月、6月

なお、原則として毎月第2火曜日（午後1時15分～5時）に、中央公民館8・9学習室にて実施しています。ゲスト見学はご自由に。事前連絡をいただかなくても結構ですので、是非お立ち寄りください。

きっと、新たな音楽との出会いが待っていますよ！！！！

「生涯学習」第4回

イランからのメール
～国際交流から学ぶ～

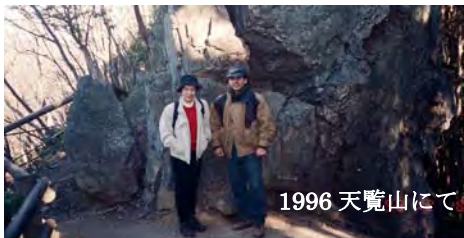
傍聴席 平栗 彰子

3月初めに、イランからメールが届きました。発信人は、私が今もボアンティアをしているTIFの日本語講習会に、20年以上前に通って来ていたイラン人の男性・バイラミさんです。「て、に、を、は」が少し乱れているところはありませんが立派な日本語で、「先生の優しさ忘れない」というタイトルでした。

彼は日本語の受講生としてもまじめで、上達の早い人でした。毎日の生活に役立つ日本語を伝えたいと日ごろから心がけていましたので、「日本人の家庭を訪問する」というテーマの単元では、実際に私の家に来てもらって課外授業を行ったこともあります。「てみやげ」の習慣について、よその家を訪問するときは、ちょっとしたお菓子や果物などを持っていくことを伝え、昔はそのとき「つまらないものですが」と謙遜のことばを添えたこともあったと話しました。彼はその後半部分がよほど印象強かったと見え、私の家に来たときは、「つまらないものですが・・・」と言いながら、決してつまらないものではないおみやげを差し出しました。

バイラミさんは靴を作る技術を持っていて、その方面の仕事に携わりたかったのですが、知りあいの浅草の靴屋さんを紹介して、ことがうまく運びそうになったときに、突然姿を消しました。さよならも言えない別れでした。宗教上か、入国管理法に関わることか、いずれにしろ込み入った事情があったと想像できます。

その人からのメールと写真です。写真には96年



とありました。バイラミさんにも私にも20年あまりのときが流れてい

ました。この間に彼の上にあったであろうことは想像を絶すると思いますが、日本の一地方で、ある時期関わった私たちを覚えていてくれたことに、心を動かされました。

バイラミさんは今イランに住んでいます。この20年間にこの地で出会った日本人は4人ほどだそうです。この世界情勢では彼はもちろんアメリカへは行かれませんが、日本へも来られないでしょう。

「イランにぜひ来て下さい。会いたい気持ちはあるが、イラン人にたいして厳しいです」と書いてありました。日本を含む西側諸国が、イランに対して経済制裁を加えているような現状では、行き来は困難なことと思われます。

昨年末から今年に掛けて、世界を大きく揺るがせた出来事に、アメリカの政権交代があります。新しく権力の座についたトランプ氏が、次々に発するさまざまな大統領令、中でもイスラム圏からの入国規制など、自国第一として人や国の多様性と融和を認めず、門戸を閉ざすやり方に大きな違和感を覚えます。ヨーロッパでも移民排斥派の動きは激しく、気になります。日本は難民については最初から極端に少数しか受け入れていませんから、他の国のことをとやかく言えないのは非常に歯がゆい思いです。国と国が上手に付き合っていくのが難しいのなら、せめて人と人が気持ちを通い合わせていくしかありません。国際関係から人際関係へと視点を置き換える必要があると思います。顔を合わせることは出来なくても、他の国の人に思いを馳せることはできます。他者への共感、国境に壁をつくろうとも、それによって断ち切られることはないはずです。

私たちは、所沢に移り住んだ外国の人々が、この地で人として大切に思われながら暮らせるようになって欲しいと願って、ことばの支援や多方面の交流をしてきました。先日の、市と所沢市国際友好委員会主催の国際交流フォーラムもその一環です。同じ市民としてのお付き合いが長くなると、支えようとしてきた私たちこそ、支えられていると感じることが往々にしてあります。TIFの日本語講習会で学んだ外国出身の多くの友人が介護の仕事に付き、老人ホームで働いています。食品関係の仕事を始めて、この所沢にしっかりと根を下ろしている人もいます。母国でのキャリアを生かして、日本で医師の道へ進むことを選んだ女性たちもいます。こういう人々を見ると、出身国に関わらず、この地域に住んで力を尽くしてくれる市民が増えてきていると実感するのです。

自国ファーストでない、他者の思いも自分のことと同じように受け止められる気持ちが広がる事によって、世の中が少しでも穏やかに推移することを願っています。

特別会員寄稿

「ポスト・トゥルース」—政治とメディアの関係性

立教大学名誉教授 門奈 直樹



昨年、英国のオックスフォード辞典は「ポスト・トゥルース」（脱真実・真実の後）という新語を採録した。言葉の意味は「今日の世論現象に大きな影響を与えているのは客観的事実や真実ではなく、

個々人の信念や情感だ。個々人の情緒的反応が世論を作っている」と。そうした世論は必ずしもその時代の「真実」を反映したものではない、と説明する。

同辞典がこの用語を採録した背景にはEU離脱の是非を問う国民投票の結果があった。

英国のEU離脱は世界的には想定外のできごとだった。しかし、投票結果は英国社会の深刻さを露呈した。離脱反対派の層は高学歴、高所得者だったが、離脱賛成派は低学歴、低所得者だった。

投票はグローバル時代における勝ち組と負け組の争いになり、負け組の意向が通った。彼らはEU体制の中では「忘れられた人」たちだった。

じつは「忘れられた人」たちをターゲットにして選挙に勝利した人に米国の新大統領になったトランプがいた。米国は英国以上の格差社会だ。トランプは保護貿易主義や米国第一主義、雇用の確保を前面にだして、市場主義社会で置き去りにされてしまった人たちの不満や不平に寄り添う選挙戦術で当選した。

トランプの当選は米国のメディアにとっては想定外だった。日本のメディアは「米国のメディアは“忘れられた人”たちの存在に気付かなかった」と報じたが、問題は「気付かなかった」ことではない。難問山積の米国の事情をきちっと報道しなかったことである。それが既存メディアの報道姿勢への市民の不信感を募らせた。

日本のメディア産業界では倒産はないが、米国のメディア界は弱肉強食の世界だ。部数拡大競争や視聴率競争で、弱小メディアは順次、淘汰されて消滅した。現在、生き残っているメディアは勝ち組である。CNNも『ニューヨーク・タイムス』も勝ち組である。

トランプは勝ち組のメディアを市場主義社会における「既得権益者」だと表現した。そこに所属す

る記者たちは自分たちに都合のいい情報だけを流すと訴えた。そうしたメディアを彼は「フェイク・ニュース」（偽情報機関）だと断言し、メディア不信を煽った。彼はSNSで直接、市民に政策を感情的に語りだした。「雇用の拡大」や「不法移民の流入阻止」がキーワードだった。他方で同性愛者への差別などで自由と人権の理念を逸脱する主張も展開したから、当然、多くの知識人や高学歴層から痛烈に批判された。

だが、既成社会の中で「忘れられた人」たちには彼の言動は耳さわりがよかった。そこが彼の狙いだった。市民のウケを計算した彼の手法は「大衆迎合主義」そのものだった。

「大衆迎合主義」とは「ポピュリズム」と表記される。オックスフォード辞典はポピュリズムを「庶民の意見や願いを代表する政治」と解説している。すなわち、既存の社会への不平・不満分子に情動的、情感的に訴えかける政治手法がポピュリズムである。

過去において、そうした政治を行ったのはドイツではヒトラーであり、日本では「満蒙は日本の生命線」と謳った東条英機や軍国主義者たち。米国では「愛国主義」をふりかざし、反共主義を煽ったマッカーサーだった。彼らは既存のメディアをフルに活用、操作した。

因みに昨今、米国ほど、既存メディアへの不信感の高い国はない。ストックホルムに拠点を置く「世界価値観調査機構」は世界181カ国のメディアの信頼度調査を行っている。同調査によると信頼度が最も低い国はオーストラリアで、次が米国。逆に信頼度が高い国は、新聞では日本がトップ、次いでフィリピン、中国。テレビではフィリピンがトップ、その次が日本、そして中国となっている。

では、日本の報道の自由度はどうか。パリにある「国境なき記者団」の昨年の調査では日本は世界131カ国中、72位だった。日本の順位の低さの一つには特定秘密保護法の制定などの影響でメディアが自己検閲＝萎縮の状況にある。二つには政治との関係でメディアの独立性が失われている、と同団体は述べて、政府のメディア介入の問題を危惧した。

日本では「ポスト・トゥルース」とは政権への忖度で「真実」が隠れていることである。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会（池田新八郎 2940-0711）

4月14日(金)13:30～16:00 中央公民館 8号室
 古典講座「竹取物語」第3回 講師：及川道之先生
 5月12日(金)13:30～16:00 中央公民館
 古典講座「竹取物語」第4回（全5回 6月終了予定）

2. アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）

4月19日(水) 13:30～16:30 中央公民館 定例会
 「安倍首相のアジア外交」討論会 司会 志村喜八会員
 5月17日(水)13:30～16:30 中央公民館 定例会
 6月12日(水) 午前中 スパイス料理講習会・試食会

3. 活いきシニア福祉の会(佐藤 重松 090-5412-5760)

4月19日(水)第29回定例会
 「特別養護老人ホーム」見学(東狭山ヶ丘一康寿園)
 現地 10:30～11:30(見学と懇談)

4. 楽悠クラブ（福田 晴男 事前連絡は不要です）

4月18日(火)男声コーラス「イル・ディーヴォ ライブイン・バルセロナ 2009」ほか
 5月 9日(火):ワーグナー歌劇「タンホイザー」1982
 レヴァイン指揮、メトロポリタン歌劇場
 いずれも 13:15～ 中央公民館 8・9 学習室

5. 食を通して所沢を知る会（吉田 麗 2939-9662）

4月4日(火)10:00～ 定例会 航空公園でお花見＆食事会
 家の光料理コンテスト応募作品検討
 5月2日(火)10:00～12:00 ふらっと、定例会
 家の光料理コンテスト試作品作

6. 地域の自然を考える会（海老澤愛之助 2922-0259）

4月25日(火)10:00～ 定例会 トロ12号地手入れ作業
 トロ財団の取得地の管理を定期的に行っています。
 環境保全に関心を持っている方の参加をお待ち致します。
 単発の参加で結構です。 ご連絡は海老澤迄

7. 地球環境に学ぶ（塚本 二郎 2942-3117）

4月18日(火)9:00～定例会、10:00～11:00 県政出前講座
 座“気象と農業災害”出席希望の方 4/11まで上記 塚本
 又は、下記 9. 清水までお電話下さい。 新所沢公民館。
 5月16日(火)9:00～11:00、新所沢東公民館。定例会

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)

4月22日(土)14:00～16:00 中央公民館 3号室
 「シニア世代 なんでも塾(2回)」 どなたでもご参加を！
 テーマ これからのシニアライフを考えよう
 *「チアダンス」 4月8日(土)14:00～航空公園で実演発表

9. 所沢の自然と農業（清水 仁一 2944-8835）

4月18日(火)10:00～11:00 新所沢公民館
 県出前講座(気象と農業災害) 地球環境に学ぶと共催
 4月27日(木)10:00～ 伊東農園「新緑を愛でる会」
 5月8(月)～10日(水)長野高山村りんご花摘みボランティア

10. 野老澤の歴史をたのしむ会（大山 豊 2993-0818）

4月20日(木) 鎌倉街道を歩く 第7回

11. ドラマティック・カンパニー（柳澤千賀子 2968-5035）

4月15日(土)10:00～12:00 中央公民館
 5月 6日(土)10:00～12:00 中央公民館
 5月20日(土)10:00～12:00 中央公民館
 「リア王」を読み進めます。

12. 懐かしの映画・鑑賞会（二上 拓夫 080-1250-6151）

4月11日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館
 ■邦画「月形半平太」(61年) 大川橋蔵 主演
 4月25日(火)10:00～12:30 西新井町公民館
 ■洋画「コクーン～遥かなる地球」(85年)

13. 脳活サークル（加曾利厚雄 2939-2308）

4月24日(月)13:00～16:00 生涯学習推進センター101号
 4月 定例会
 『総会』&『今期の活動計画を会員による話し合いと方向づけ』
 —脳活するサークルです— 新会員、募集中！

14. 北欧の会（樋口 俊夫 090-6483-7993）

4月25日(火) 14:00～16:00 頃 新所沢東公民館
 第76回例会 持ち寄り学習 DVD 観賞 他
 5月23日(火) 14:00～16:00 頃 新所沢東公民館
 第77回例会 持ち寄り学習 DVD 観賞 他

15. 傍聴席（石堂 智士 2947-0835）

4月17日(月) 14:00～ 新所沢東公民館
 学習会 テーマ:高齢化する地域でのコミュニティづくり
 講師:南林 和(椿峰まちづくり協議会長)
 5月15日(月)「東部クリーンセンター更新工事」出前講座

16. 民話の会（仲山 富夫 090-3902-0283）

4月11日(火) 14:00 老人ホーム「桂の樹」で民話の会
 4月21日(金) 9:45 集合 中央公民館 民話由来地巡り
 新光寺～弘法の三ツ井戸～神明社～薬王寺～航空公園
 航空公園で昼食会 *雨天中止

17. 歴史散策クラブ（大河原 功 2943-2004）

4月22日(土)9:45 川越駅改札前集合(所沢駅9:09発)
 舟運の仙波河岸跡から新河岸川河畔を歩く
 5月13日(土)9:00 所沢駅 2F改札内集合
 文京ふるさと歴史館から伝通院へ

18. 広報部

4月 6日(木) 9:30～15:00 頃 生涯学習推進センター
 「広場」4月号、編集会議・発行日
 5月12日(金) 9:30～15:00 頃 生涯学習推進センター
 「広場」5月号、編集会議・発行日



【私の健康法 第46回】

歩ける贅沢

活きいきシニア福祉の会 竹内 和幸

現在、一万歩を歩く事を日課としています。時間にして一時間半。無理のない歩きを念頭に置いています。

職場の健康診断の結果「体重を減らせば殆どの数値がクリアできる」との説明を受けてから歩く事を実行し始めました。しかし、高血圧は変化が無く、「遺伝だから」と一蹴され、諦めていました。退職後にかかりつけの病院で生活習慣病の検査を受けた結果、どれも基準値を上回る数値。医師に「いい薬がある」とまで言われる始末。それならばと一発奮起。そこは仕事に拘束されない身の強み。「毎日歩く」と決意表明。家の近所を歩くだけでも発見があります。道端に咲く名も知らない花、鳥のさえずり、雑木林の中に続く小径、行く手を足早に横切る雄の雉、畑を吹き渡る風の心地良さ等を贅沢にも独り占めしている事にも気が付きます。片手にデジカメを持ち、演歌も口ずさみます。見慣れた風景の中なのに目新しさにも驚きます。

今朝は少し脇道に入るPコースを歩こうかな？明日は同じ道は通らないOコースにしようかな？お天道様に合掌できるご来光コースにしようかな？迷いも楽しい。

野菜を多く食べて、楽しみを見つけて歩いているうちに、減量も適度に進み、な、なんと降圧剤の服用の見合せの許可を得て、現在、薬とは無縁です！

楽しさの秘訣は歩く事から始まるような気がします。歩く事は楽しい。二人で歩けば尚更楽しい。気心の知れた仲間達と歩けば、もっともっと楽しい。

春雨



むさし野俳句会（二十九年三月）智光山公園吟行作品抄

春雨に日時計の針揺れにけり
武蔵野の色塗り替へて木の芽雨
雨を得ていよよ明るき芽吹きかな
彼岸寒雨に木椅子のかたまりぬ
海苔粗朶に寄する小波夕明り
武蔵野を伐り残してや春の園
春雨の真珠と化して木々の枝
春の鴨せせらぎ漁る親子かな
削られし武甲の山の春寒し
轉りを寸断させて戦闘機

海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
高光 泉

草萌ゆる武蔵野の原踏みしめり
春雨の日時計の刻定まらず
雨霽溜めし蕾や春を待つ
土橋や右も左も諸葛菜
赤松の末の滲みて鳥曇
春の雨園の大樹が手足伸び
木の芽張るひと雨ことの零溜め
春雨や金網越にフラミンゴ
棒立ちの茎より葦の芽吹き初む

利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
鈴木 征子



《編集後記》

開花の便りが聞かれるさなか、若人の新たな旅たちである卒業証書授与式に、地域の代表として参列する機会を得ました。小生が卒業式に参列したのは半世紀ぶりでした。在校生の送る言葉や卒業生の答辞から楽しかった学校生活が目に見えるようでした。

ふとその時、自らの卒業式を思い出した。

小生の卒業式は、学園紛争の真っ最中のため、学校全体での卒業式は行われず、部課別に行われた。学長や学部長の送る言葉もなく、ましてや卒業証書には代理や代行の名前で署名されていた。いかに不安定な気持ちで、学び舎を後に新しい世界に旅立ったものか。友と将来の夢を語り合う時期に、学生運動の議論に明け暮れた思い出がなく、今から考えるとまったく時期を過ぎたものであった。

若人には、友と語り合った夢がかなう様、望む春の一時でした。

(西郡)

「広場」問合せ 海老澤愛之助 (04-2922-0259)

川柳① 作品発表 中島峯生 選

課題「部活」

ミーティング途中休憩また熱く
球拾い誰にも負けない三年目
どか弁を欠かさず持たす部活動
部活ではじつと耐えてたタマひろい
部活では玉拾いだけ試合なし
部室から反省会は居酒屋に

「自由句」

付度はなにと言われて広辞苑
春なのにまだ頑張るの焼き芋屋
月と星僕と彼女いつまでも
首のしわ舌出しエクサ物陰で
サクラ餅並んでやつと春を買う
ワンコイン何に使おうプチャ家出

どうし
丘の河童
りんご好き
突拍子
海さとし
庵閑子
どうし
丘の河童
りんご好き
突拍子
海さとし
庵閑子
どうし

次回の課題 「楽しい」又「自由句」 4月20日締切り

担当 中島まで

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp

FAX04-2928-1161